

小学校のあり方検討保護者意見交換会の概要

【内海小学校】

日 時 令和7年8月18日（月） 午後7時00分～午後8時05分
場 所 内海小学校 3階 図書室
参加者 11名

主な意見・質問

○小学校のあり方について

Q：建物の耐震化はしていますが、耐用年数は何年くらいですか。60年くらいだと思うのですが。

A：一般的な鉄筋コンクリートの耐用年数ですと、約50年から60年くらいです。建物に手を入れて長寿命化をして、最大で80年くらいだと思います。ただ内海小学校はコンクリートの劣化が激しいので、本当に建物がもつかどうかは分かりません。豊浜小学校も本校舎以外は50年近く経過していますので、本来であれば早急に改修を検討していかなければならないと考えています。建物については、手を入れれば80年くらいもちますが、排水、水回りの劣化の方が思ったよりも早いという印象です。

Q：中学校の統廃合は若干やむを得ないと思う。子どもたちにもクラス替えを経験してもらうことで、いい形で進んでいると思う。小学校、そのまた下の保育園もそうなのですが、やはり、孫の運動会・学芸会を近くのところで見に行きたいという希望もありますし、地域に1つそういうところが、みんなが集まるところがあった方が良い。それが無くなってしまって統合では寂しい。町として、統合したいとか希望はありますか。

A：今日はゼロベースで皆さんのご意見を聞きに来ています。学校は子どもたちが勉強する場、友達と一緒に生活する場ではありますが、今もおっしゃられたように、各地区の拠点にもなる場所でもあります。防災の関係にしろ、コミュニティの集まりになる場所にしろ、そういう大事な場所でもあります。これまでもやむを得ず、町内で小学校の統合を進めてきましたが、ここからは、大字で考えたときに、残すことも必要であるという声もたくさん聞きます。子どもたちが、例えば複式学級になった時には、同じ教室の中で2つの学年が授業を受けていく形になります。1人の先生が1年生を教えながら、今度は2年生を教えるという動きになった時に、子どもたちの学びということを考えるとどうか、という部分もあるので、何とか複式学級とならないようにしたいと思っているのですが、子どもが減っていってしまうとならざる得なくなってしまうものですから、その辺りについて、ご意見をお聞きしたいと思います。

Q：年々子どもが減少していくという右下がりの減少というのは分かるのですが、増やす方法を皆で考えていくことが願いです。

A：町長も人口減少ストップということを言っています。ただ、最終的にはやはり数字を見るしかありません。人口を増やしていきましようと言っても、実際にそういう形になっていくかどうかは正直言って分かりません。後々増えるかもしれないと言って、延ばせば延ばすほど、後で気付いた時には子どもがいなかったということになってはいけないので、現状を皆さんに知っていただいて、どうしていった方が、ベターなのか。そこを皆さんと話をして今後決めていきたいという思いです。これだけ今人口が減っている、生まれている子どもが40人しかいないということ自体まず知らないのではないかと、そういった所をまず見ていただいて、本当にどうしていったらいいのだろうということを、自分のことと思っていただいて、皆さんに考えていただけたらと思っています。

Q：児童生徒からするとトイレ問題をとってみると、トイレが汚くて、和式だから入れないとかではなくて、絶対学校では大便はしない。

A：施設が老朽化していたり、洋式化が遅れていたり、そのようなところでご不便をおかけしていることは重々承知しているところです。ただ、今後、計画的に実施していかなければなりません。皆さんそれぞれ意見が違うと思いますので、最終的には、アンケートを取るしかないと思っています。結果をどこで判断するのかと言ったら、やはり多数決になってくると考えています。皆さんにお任せするような形にはなってしまいますが、多数決の中で意見を聞いた中で、どうしていくかというのが、本筋かと思っています。

Q：多数決で決めることは大事だけど、本当の意見が拾えていないような気がする。

A：今回でも説明会に来ていただいた方は、言い方は悪いですが、これだけの人数の意見から結論はなかなか出せません。そうしますと、該当する保護者の皆さんに、すべて意見を聞いて、それを拾っていくというのが一番民主主義的であると考えています。

Q：アンケートは、やってほしい。ただ、前提条件が皆さん分からないし、そういう情報もなかなか親同士で共有できないし、意見を言ったところで、それが反映されないという気持ちもあって、お金もないということもあり、どういった選択肢が可能なかというところが、親たちにも分からないというところがあります。子どもが出来ても、中学校ない、小学校ないとなった時に、この土地に帰ってきていただろうかと思うと、どこか違うところにアパートを借りて内海に仕事で通うことにしていたかもしれないと思ってしまう。

A：アンケートは1つの方法だと思ってください。

自分もこの後、5つの小学校が将来的に残っていくことが理想だと思っていますし、そのために各小学校も頑張っていてほしいし、南知多中学校も頑張っていてほしいです。ですから、他の地区から南知多町の小学校や中学校で子育てをしたいから、移住して来たいというように進めたいとは思っています。しかし、教育だけではなく、産業で

すとか、若い人の働き場所がないと、なかなかそこまではいかないで、まだまだ課題は多いと考えています。ただ、先程も出ていたように、地区によってはもう1桁の学年が今後出て来る訳です。そうなりますと、主要教科と言われる教科は、少人数で教えてもらえるのは確かにいいのかもしれませんが、例えば体育や音楽のような沢山の人の中で活動するものは出来なくなってしまいます。そういう中で子育てをしていくのはやはり苦しいのではないかと、子どもたちの為にもならないのではないかと考えています。先程、最終的にはアンケート調査と言いました。早急には考えていませんが、他の人の意見を聞く機会が必要であると思って各地区を回っていきます。ですので、あくまでも統合に賛成とか反対とか色々な意見があると思いますが、色々な意見を聞く場面を設定しているつもりであります。他の人の意見もしっかりと聞いたうえで、町全体のことを考えて判断してもらおうという、今日はスタートと考えていただければいいと思っています。思っていることをどんどん出していただきたいと思っています。

Q：例えば、島の方々のことを考えると、師崎に1つ、内海に1つの2小というのは、現実的なのか現実的でないのか。それは選択肢として考えていいのか、いけないのかも親たちには分からない。先程防災とコミュニティスペースの拠点でもあるとおっしゃっていたのですが、他の公民館の建て替えと同時に、複合施設のようなものが可能なのかどうか。そういった計画とすり合わせが出来るのか。2小で造っても、もっと少なくなったらこっちに移すけど、こっちはここで残るとか。どういった可能性があるのかというところが、展望が私たちも分からないと、何を選ぶというか、どんな選択肢があるのかというのが、親たちも、本当にざっくり自分の感想を言うだけになってしまうと思います。

A：複合施設ももちろん考えています。ですので、そういうことも可能だろうなという意見があれば、どんどん出していただいて、こちらの方でそれらの意見を基に案を出していきたいと思っています。今はまだ、皆さんの意見を聞く段階ですので、複合施設ももちろん選択肢の1つです。

Q：保育園に娘がいるのですが、その子たちが上がってくるから、保育園の親が呼ばれていると思って来ました。来てみたら、保育園の保護者は誰って感じがしてしまって、今回のこの会は誰に対して呼び掛けている会なのかということと、今回もらった資料は、私たちは来たからにただけて、来ていない方たちは結局分からないままなのか、この資料というのは、小学校や保育園で、保護者に配られるものなのかというところが知りたいのと、もし、今日この会で、意見をということだったら、最初に保護者にこれを配ってもらって、保護者が家で読んだうえでこの場に来られたら、ここでうちの中ではこんな意見が出ましたというやりとりができたと思っています。

A：今日で終わりとは思っていません。今回は小学校以下のお子さんをお持ちの保護者の方全員に案内が渡っているはずですが。

Q：案内だけでこの人数ということは、意識は向いてないというか、先に資料をいただ

いたうえで、家で考えてきて、アンケートを取ってこんな意見が出てきましたけど、みなさんどうですかと言って、話し合うとか、もんだうえで集まったほうがより良い意見が出てきたりする。回数は3回がいいわけではなくて、また同じ人間か、これだけしかないなら来なくていいやとなってしまうので、最初にもう少し町の状況を教えていただけると良かったと思います。

A：おっしゃるとおりです。言われるとおり事前に配った方が確かに良かったと思います。そうすれば興味というか、これは行った方がいいと思っていただけたかもしれませんので、そういった所は反省点だと思います。

Q：あきらめてしまっている。どうせ勝手に町の方で決めてしまうのだろう。というのと、そこまでみんな、難しいことは考えたくないというのと、この時間帯に子どもたちを誰が見るのかというのと、色々あって来ないのだと思います。何も期待していないのだと思います。どうせ勝手に決まるのだろうと内心思っていたのですが、来ました。

A：中学校の統合に関しても、そのように言われる方はいらっしゃいました。でも意見を言わないと、最終的に進む方向は一緒だとしてもそれに対してみなさんの意見をを入れていくか入れていかないというのは、やはり違うとは思いますが、ですから、出来るだけ参加していただいて、意見を言っていただけたらと思います。

Q：南知多中が統合するときに、一番保護者にこういう話を聞いてもらえたのは、やはり、学校公開日だとかに一緒にやる。そうすると、足を運ぶ理由が別にあるので、とりあえずそんなに興味がないにしても、耳には入る。

統合に関しては、した方がいいだろうと思っています。各地区にあったほうがいいという気持ちもあるのですが、中身がより濃くなってほしいというのがあって、やはり、10数人だとか、10人以下だとかの学級活動よりも、それこそ多様化と言っているのだったら、人間関係も6年間、9年間かけて色々なグループも経験してほしい。今後、南知多中の新校舎建てましょう。その後、耐用年数がきたから、小学校も5校建てましょうとなったら、お金が回らなくなる。結局箱だけ出来て、中身はスカスカ、特別教室にはエアコン付きませんか、そんな苦しい状況は、誰もが嫌だと思うので、中学校と小学校を同じ敷地に建ててしまおうとか、例えば体育館を共有したりだとか、図書館を共有したりだとか、運動場も共有したりだとか、そうすると回せるお金が増えてくる。町の各地域に、公共施設も必要だと思うので、図書館を各地域で充実させたりだとか、もっと保育園を充実させたりだとか、子育て世代に向けた施設を、跡地に残していくべきだとは思いますが、今、この状況でお金がなくて出来ないことが、すごくあるのに、新しくポンポンと箱を作って、更に人口も減っていくとなると税収も減ってきて、本当に回っていくのかなと思うので、学校を1カ所に集めて、それこそ保護者の立場からするとなるべく近くでと思うかもしれませんが、日間賀島のお子さんは一番通学距離が遠いので、心の距離も遠くになってしまわないかと最初はすごく心配しました。それもだんだんと慣れてきて、安心してもらえるようになりました。一番うれしいのは子どもたちが地域の分け隔てなく仲良くしていること。中学生はすごく各地域の祭りにも行くようになりましたし、遊びも、海っこバスを無料

にしてくれていることもあるのですが、各地域に限らずどんどん遊びに行くというがあるので、そういったコミュニティも、今、内海でほしい、豊浜でほしいではなく、南知多でというようになっていってもらえればとは思っています。

A： ありがとうございます。今出していただいた意見で、小学校と中学校を一緒にこの際考えたらいいのではないかとすることは、何か月か前の意見交換会の時も地域の方から出ました。それも本当に大事な意見だと思っていますので、先程もありましたが、言っても無駄だろうじゃなく、意見を参考にしています。各地区に残した方がいいという意見もあると思います。そういう意見を聞きたい。生の声を色々聞きたいのです。

Q： もちろん各地区に残してほしいという気持ちもあるのですが、クラス替えがないという弊害も感じているので、人数は欲しいのです。あと、キャラが固定されてしまうのですよね。女の子でもやんちゃなイメージのまま。クラス替えがあつたら、もしかしたら、ちゃんと真面目になれるかもしれないのに面が割れてしまっているから、変わらないというのがあって、人数は欲しいのだけど、固まってしまうという弊害もどちらもあって両方できないのかな。何とかできないですかね。

A： 中学校の統合の時に話をするのですが、正直言いまして、100%メリットというのはありません。メリットがあればデメリットもあるのです。中学校の統合でも、先程言ったように、たくさんの中でやれるというのはメリットと考える人もいれば、少ない方がメリットと考える人もいます。通学時間が、現状徒歩で行けていたものが、日間賀島の生徒ですと、船に乗って、それからまたバスに乗って来ます。1時間近くかかります。そこをデメリットとした時に、最終的にどこで判断するのかと言いますと、メリットの方が多いいのか、デメリットの方が多いいのかで決まるとしています。デメリットの方が多ければ、統合には反対という意見を言われると思います。ですが、うちは1時間かけてでも、たくさんの方がいて、そういった所で学ばせたいという思いが強ければ、メリットの方が多いいということで、統合に賛成という形になると思います。ですから、この小学校のあり方についても、どう判断するかは人それぞれで違うので、そこで、どのように個々が判断するのかだと思っています。

Q： 日間賀にもお友達がたくさんいるのですが、子どもたちは楽しい。中には通学時間が長くていやだと思っている子も一部いますが、ただ、多くが、バスに乗っている時間も楽しいと言ってくれている。費用対効果もあるから難しいですけど、集中力の問題なのですが、小学生の子どもたちがその時間に耐えられるか。

A： 年齢も違うので、なかなか難しいところもあると思います。

意見： もともと県外出身で、最初は南知多町？と思いましたが、相手が内海なので、でも実際ここに入ってきて、上の子の言葉がゆっくりなので、どんぐり園に入っていたのですが、家族みたいな感じで接してくださったので、南知多町は温かいのだなと思いました。ですので、統合したら、先生たちとか大人の目もあって、家族みたいにな

らないかなと思います。

意見：学力的な面でも、スポーツの面でも多い方が良い。教える側からしても、少人数だと塾みたいな形ですごくしっかり教えてあげられるというのは、メリットかもしれないが、やはりそれでは育っていかない。学力だけでなく、心の面だとか、育っていかないところはたくさんあると思うから、建物とか、お金のことは考えられないですが、子どもたちが育っていく場としては、統合したとしても少ないのだから、少しでも大きいところで学ばせてあげたいという気持ちはあります。

Q：やはり今、小学校の統合を考える時に、保育園の方たちからどういう意見をいただくかということは基本だと思います。保育園ですと母の会とかそういうところで、なるべく生の声を出前の聞き取り、それをやっていただかないと本当の声は聞こえないし、これはまだベースのところであるということですが、やっと皆さんから意見もいっぱい出てきたじゃないですか、多人数がいいとか、そういったメリット、やはり説明会、意見を聞くこと、何が一番いいのかをもう少し考えてもらった方がいいと思いました。

A：言われるとおり、皆さんのいらっしゃるところに出向いて説明させていただくというのが第一だとは思いますが。

Q：意見のある人この指とまれではなくて、最後には皆さんご意見をくださいにはなると思いますが、このような意見がそこそこ出ていますよという選択肢を調べるためにこういう会合をやっているのであれば、順番としていいのかなと思います。そこで、こんな意見も出ましたが皆さんはどうお考えでしょうかと言った方が、意見も出しやすいかもしれないし、その辺りを聞いてくれると、統合したら、こんなにいいのだ、子どもたちが生き生きしている。

A：前に中学校や、みさき小学校を統合する前の保護者の方にも言っていたのですが、今までは各地区がふるさとだったかもしれないですが、統合した時は、南知多町をふるさとと考える子どもたちにしていきたいということで進めてきました。南知多中学校が、頑張ってやってくれているものですから、だんだんとそういう意識になってきていると思います。

意見：中学校の統合という、良い例、それを小学校に当てはめてどう進められるかを検討するケースが一つあるので、それを上手に活かしていただきながら、小さい子どもでも適用できるのかという問題がこの先出て来るとは思いますけれども、先生の意見も聞いて進めてください。

Q：少子化ということについては、もう、お母さんお父さんも、これからの世代をどう裕福につなげていくかという観点から、少し言葉は悪いですが、たくさん子どもを産んでもらって、少子化の歯止めをつけないければならない。意識改革をしなければなら

ない。そういうことに尽きると思います。アンケートの対象はどのように考えますか。

A：現状で行きますと小学生の保護者以下かと考えています。これから検討します。

Q：私の要望は、アンケートの対象は、自治会長や総代などにも依頼する。また、児童、妊産婦、病院に入院している全部の人に依頼する。それでアンケートを集約してほしいと思います。それで、アンケート結果の報告というのは、いつ出ますか。

A：まだ現状アンケートをいつ取るのかも、決まっていない状態ですので、それは分かりません。

Q：先程の資料ですが、1ページの令和7年度と令和13年度、これ、私初めて実態を知りました。それで、この場を開くにあたって、根回しが必要ですね。いきなりこの場で発言しろと言われても、こっちの方も考えが到底及ばない。先程言いました少子化に伴う小学校クラス編成の展望、このように謳ってもらって、アンケートに臨んでもらいたい。乱暴な言葉ですみませんが、お詫びします。

A：今回、意見交換会を開くにあたって、内海・豊浜・みさき小学校のPTAの役員の方たちの会合に行って、説明をする予定でした。ただ、豊浜小学校は1学期に役員会が開かれたので出来たのですが、内海とみさき小学校については、その会が開かれませんでした。集まる機会が1学期に取れないということで、事前にその話が出来ませんでした。この資料は保護者の皆さんに渡ります。保育所の方は紙の資料で渡と思いますが、今回は、現状を知っていただくというのがまず1つ目の目標で、その中で、こういう意見が出ましたというものも出しながら、3地区回った後で、保護者の方の意見をホームページに載せます。

Q：学校をどうするかということも大切だと思いますが、先程議題に出た出生数、この増加に伴う町役場の対応、対策が知りたい。もちろん、移住を促進していくというのも一つの手段ですが、これは、焼け石に水で、すぐに蒸発してしまう。全然歯止めがかからないということなのですが、その辺り、町役場ではどう思っていますか。

A：出生数は先程言いました通り、親御さんがいなければ出生はしないので、親御さんがまず南知多町に住んでいただく施策をとらなければ、子どもは増えないと思っています。まず、親御さん世代を増やすには何をすべきかと言ったら、やはり働くところを作ることが一番だと思っています。ただその働くところが、すぐに役場が主体となって作れるかと言ったらなかなか難しいところがありますので、ある程度、そういった所を検討していかないといけないと思っています。

Q：余談ですが、移住に際して魅力的な場所はどこかということ、全国的にアンケートを取ってしまして、その結果、ベスト3に入るのは、長野県とか福井県とかそういうところ。それに際して南知多町というのは、全国のどの辺にあたるか分からな

いのですが、その辺情報発信をして、強くアピールする必要性があると思います。

A：教育委員会としては、先程も言いましたが、他の地区に住んでいる保護者の方もいろんな悩みを抱えている方もいらっしゃると思うので、そういう方々が、南知多町で教育を受けさせたいという、南知多町の教育を作ることが、我々の役目なものですから、そこを進めて行きたいと思っています。

Q：保護者の方々はそれぞれの意見をお持ちでしょうけど、教育サイドとしてどういう意思を持っているか。どうしてそっちを進めるのかというのを明確にしてもらいたいと思っていますので、次回の打ち合わせがあるのであれば、それまでに見える化していただきたいと思っています。

A：各地区に残したいという気持ちはありますが、子どもたちにとって、本当にいい学校を準備してあげたいという思いもあるものですから、それを両立させるのはなかなか難しいので皆さんの意見を聞きたいと思っています。100 か 0 ではないと思います。これはみんな同じ気持ちだと思います。先程も言いましたが、今日来られなかった方もいらっしゃいますので、資料が渡るようにします。明日、明後日と豊浜・師崎地区へ行きます。その中で、今日出していただいた意見もそうなのですが、また、まとめたものを、この資料も併せて、町のホームページに載せます。

Q：テトルで配信していただくのもいいのですが、紙で手に届いた方が見るのではないかなと思います。みんなスマホを持っていて、色々な案内が来る中で、情報が沢山スマホに入ってくる中、埋もれずに、アクセスしてもらおうのは本当に難しく、紙で届いた方がいいのではないかと思いますので、検討していただきたいです。

A：分かりました。

○その他自由記述意見

・費用等の都合、急速な子どもの減少で計画自体が無くなると思っている。総合体育館を拡大して、総合施設を造る。内海に持ってきてもらいたい。

・次回やるときは子どもを見てくださる人が2、3人くらいはほしいです。費用等考えなければ合併して学校を一つにして、音楽（合唱）や体育（バレーやバスケット）ができるくらいになったほうがいいのではないかと思います。